

製品名: TOB1 (リン酸化 Ser164) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05566**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	TOB1
別名	TOB1; TOB; TROB1; Protein Tob1; Transducer of erbB-2 1
遺伝子 ID	10140.0
SwissProt ID	P50616
免疫原	抗血清は、ヒト TOB1 の Ser164 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 130-179

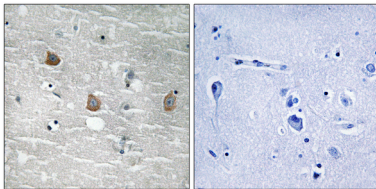
背景

この遺伝子は、erbB-2/B 細胞転座遺伝子トランスドューサータンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリー

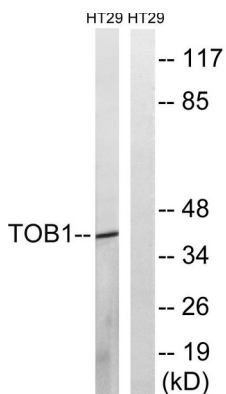
のメンバーは、細胞増殖を制御する可能性のある抗増殖因子です。コードされているタンパク質は腫瘍抑制因子として機能する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011年8月],機能: erbB-2 受容体チロシンキナーゼと相互作用する抗増殖タンパク質。タンパク質チロシンキナーゼ受容体と物理的および/または機能的に相互作用する可能性があります。 ,PTM: Ser および Thr 残基がリン酸化されています。 ,類似性: BTG ファミリーに属します。 ,サブユニット: CNOT7 と相互作用します。 ,組織特異性: 普遍的 です。 ,

研究分野

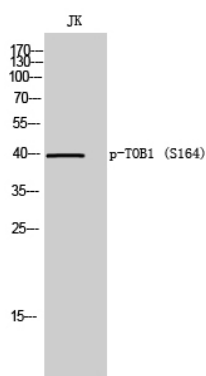
画像データ



TOB1 (リン酸化 Ser164) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



HT29 細胞ライセートを血清 20% 15' で処理し、TOB1 (リン酸化 Ser164) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンにはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 TOB1 (S164) ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析